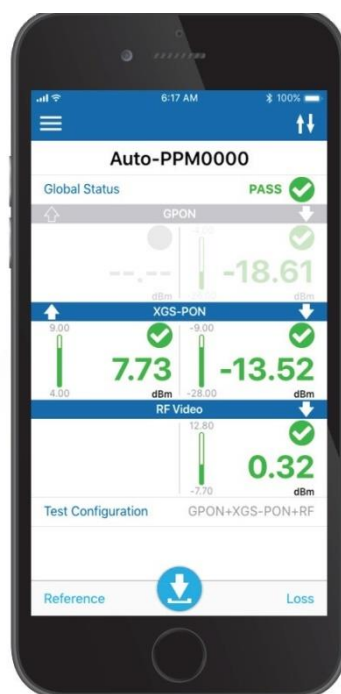





EXFO 社製

PPM-350D クイックガイド

[第 3 版]

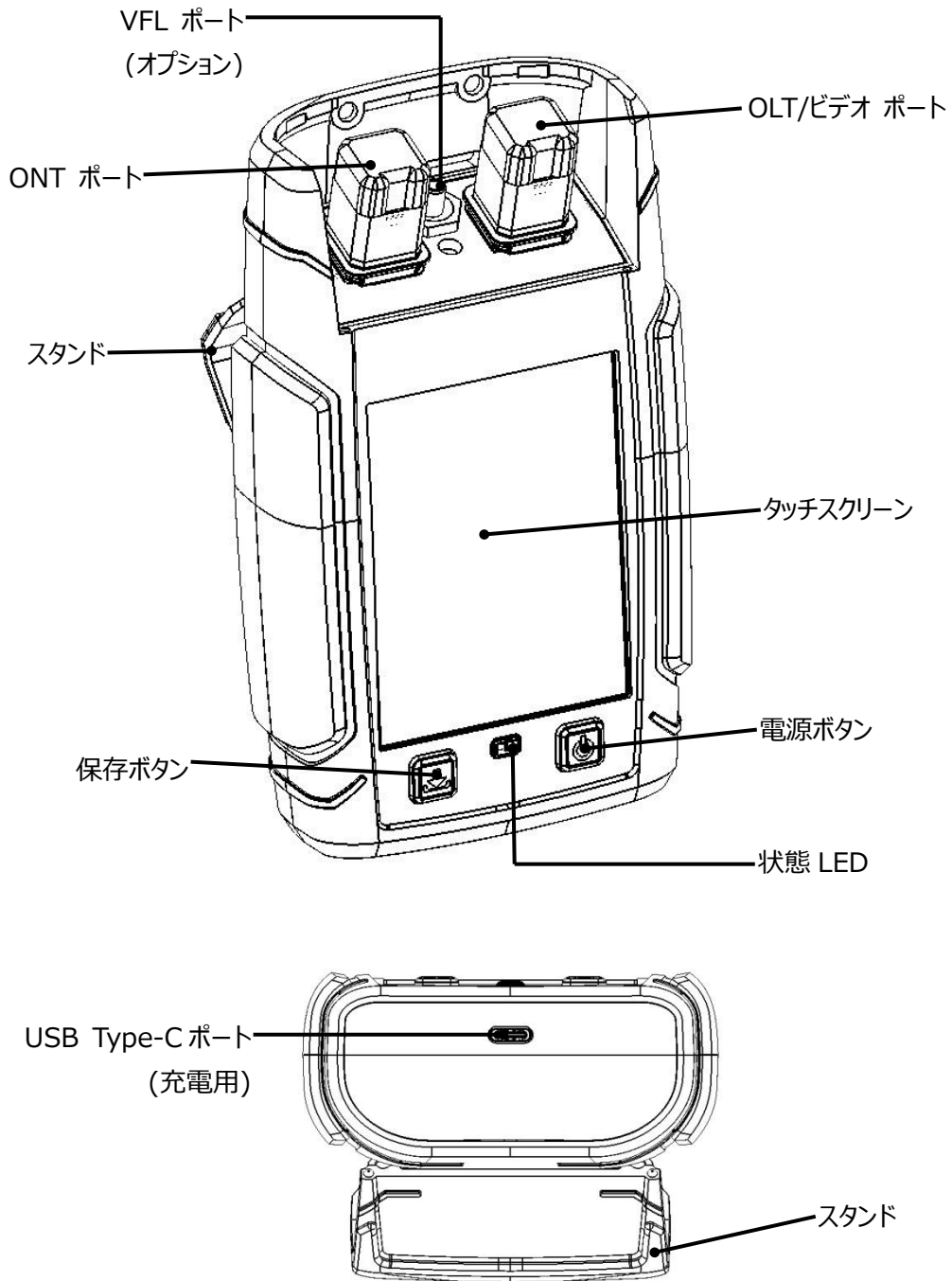


-  本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
-  本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。
-  危険ですので本体のネクタポートを直接のぞかないで下さい。

目次



1. 本体の説明	2
2. パワーメーター	3
2.1. 電源 ON/OFF	3
2.2. メニュー画面.....	4
2.2.1. 初期設定.....	4
2.2.2. 日付設定.....	5
2.2.3. オフセット Null 調整(ゼロ調整).....	6
2.3. テスト構成設定	7
3. テストの実行	8
3.1. しきい値(マージン)の確認	10
3.2. dB(ロス)モード測定	11
4. テスト結果の管理	12
5. スマートデバイスからの操作	13
5.1. アプリケーションの取得	13
5.2. 起動と接続.....	13
5.3. メニュー.....	14
5.3.1. Test Configurations	14
5.3.2. Identification	15
5.3.3. Measurements.....	16
5.4. 測定	17
6. 仕様	18

1. 本体の説明



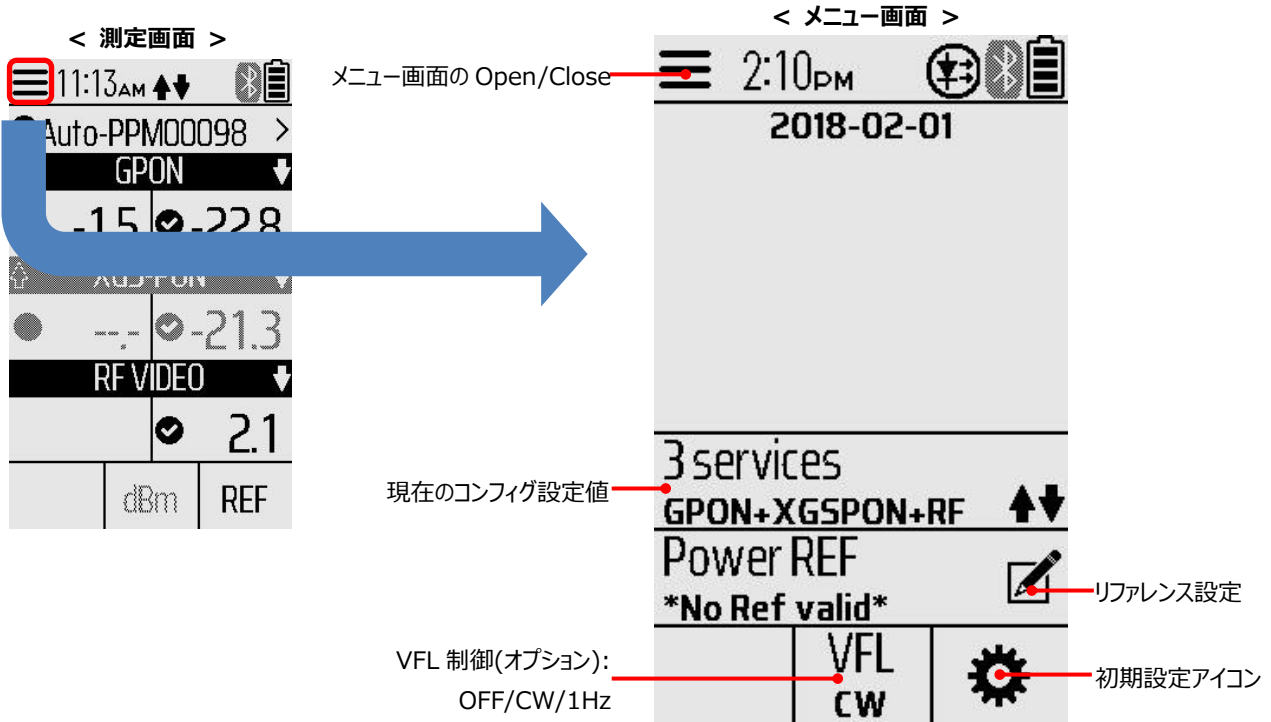
2. パワーメーター

2.1. 電源 ON/OFF

- 電源 ON
本体右下の電源ボタン  を押します。「EXFO」と表示された後、メイン画面が表示されます。
- 電源 OFF
本体右下の電源ボタン  を数秒間押し続けます。現在の設定値は、自動的に保存されます。

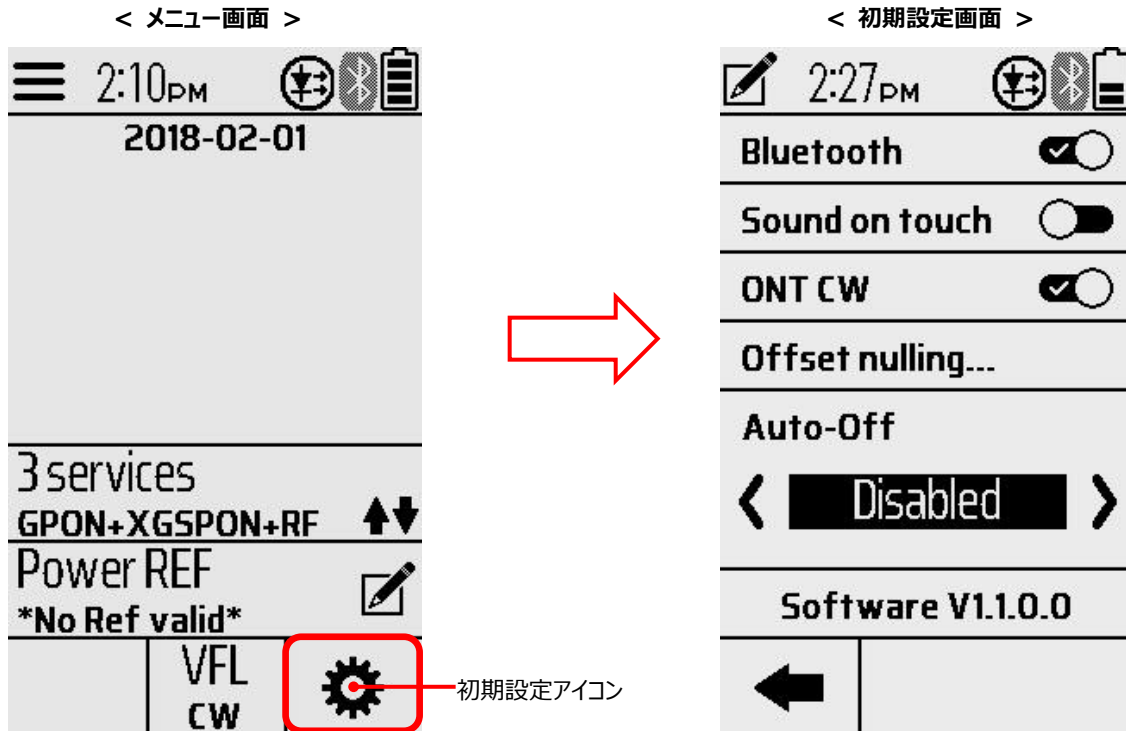


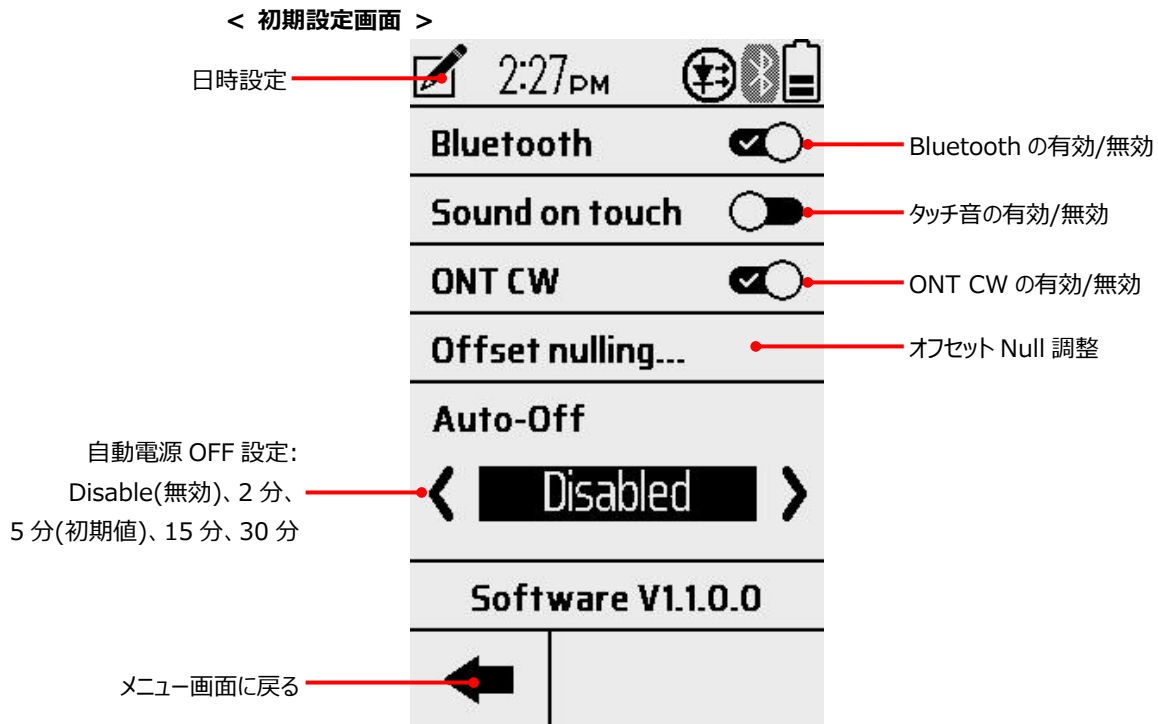
2.2. メニュー画面





2.2.1. 初期設定

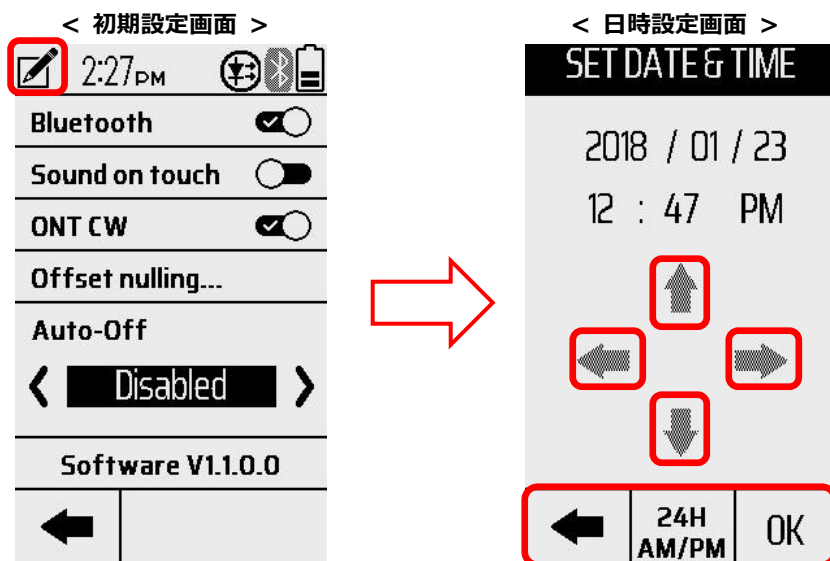
メニュー画面の初期設定アイコンをクリックすると初期設定画面が表示されます。





2.2.2. 日付設定

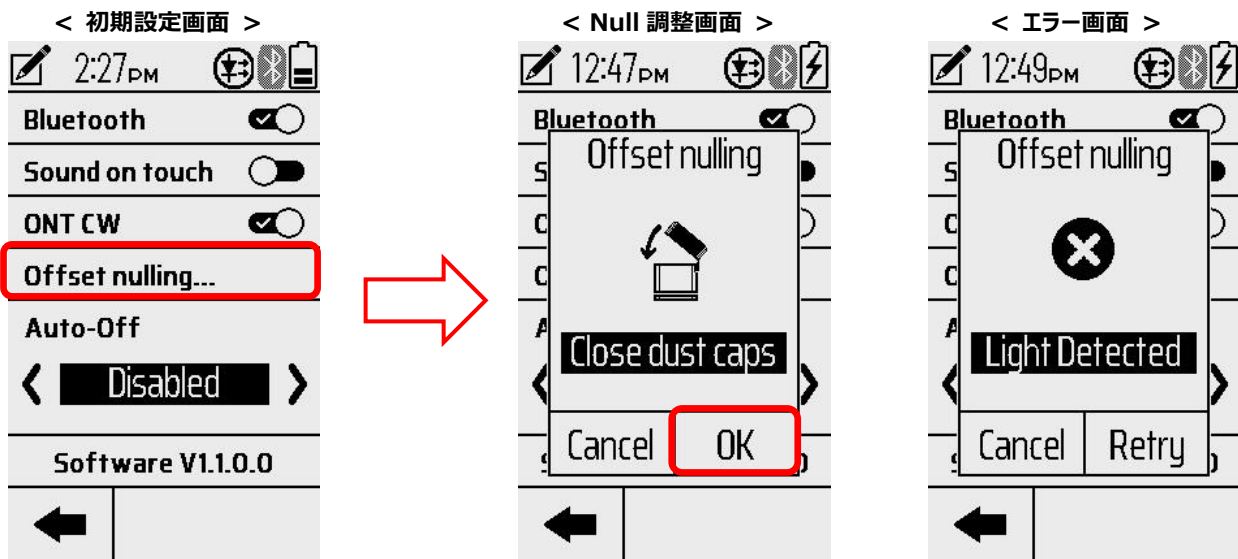
- (1) 初期設定画面で日付設定項  をクリックします。
- (2) 左右矢印もしくは設定変更する箇所を選択します。
- (3) 上下矢印で設定します。
- (4) 24H AM/PM クリックして時刻表記を選択します。
- (5) 全て設定後、OK をクリックします。右矢印  で初期設定画面に戻ります。



2.2.3. オフセット Null 調整(ゼロ調整)

気温や湿度は、電気回路や光デバイスに様々な影響を与えます。電氣的オフセットをゼロにすることにより、これらの影響がなくなります。環境条件が大幅に変化する場合、非常に低い光レベルを受信した場合は、Null 調整を実行してください。

- (1) 初期画面で Offset nulling...をクリックします。
- (2) **光コネクタのキャップを閉じた状態**で OK をクリックします。光を受信しない状態で Null 調整を行います。
- (3) 完了後、OK をクリックします。

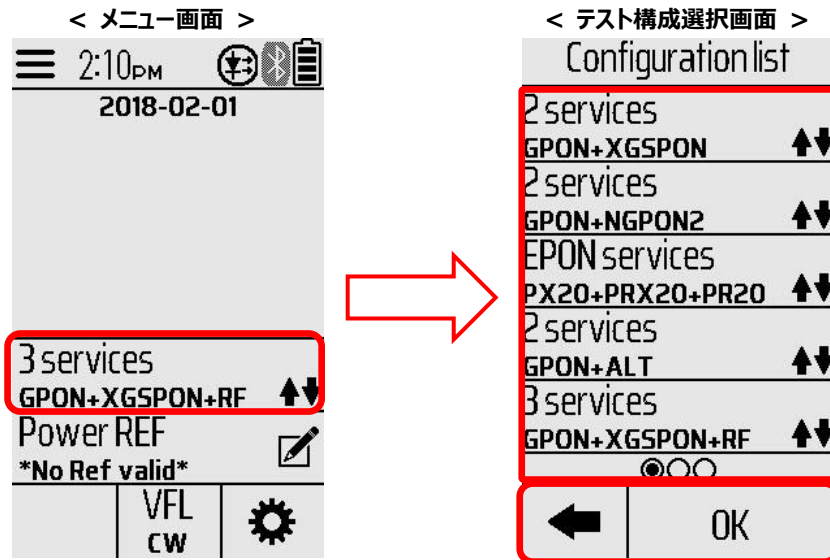


光を受信している場合

2.3. テスト構成設定

測定を実行する前にテスト構成を選択します。

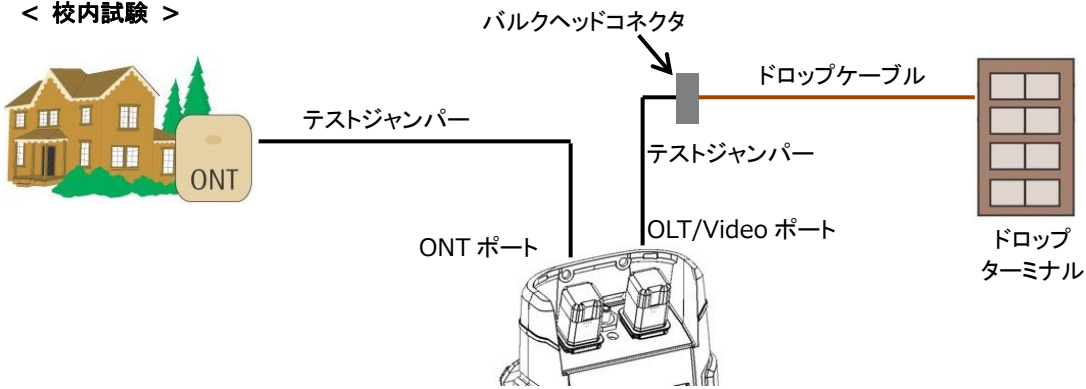
- (1) メニュー画面からテスト構成をクリックします。
- (2) テスト構成を選択します。1 ページに 5 個のテスト構成が表示され、3 ページ分のテスト構成から選択します。
- (3) テスト構成選択後、OK をクリックします。キャンセルまたは、メニュー画面に戻る場合は、矢印 ← をクリックします。



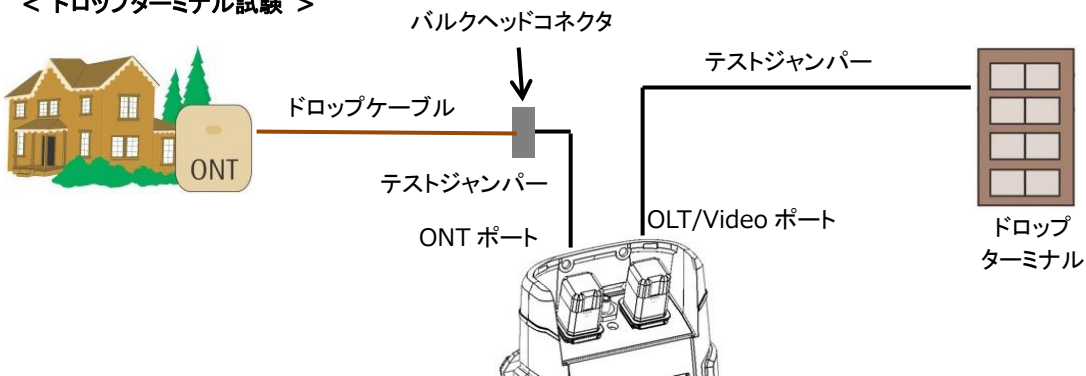
3. テストの実行

FTTx モードは、サービス中またはパッシブ光ネットワークのトラブルシューティングに使用します。(以下の試験構成を使用できます。)テスト構成に応じて2つまたは3つの波長を同時に測定できます。

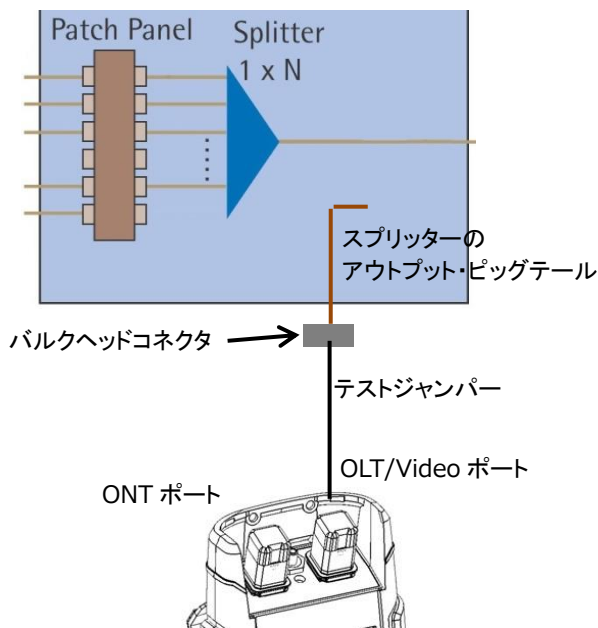
< 校内試験 >



< ドロップターミナル試験 >



< ファイバ分配ハブ試験 >



< 測定手順 >

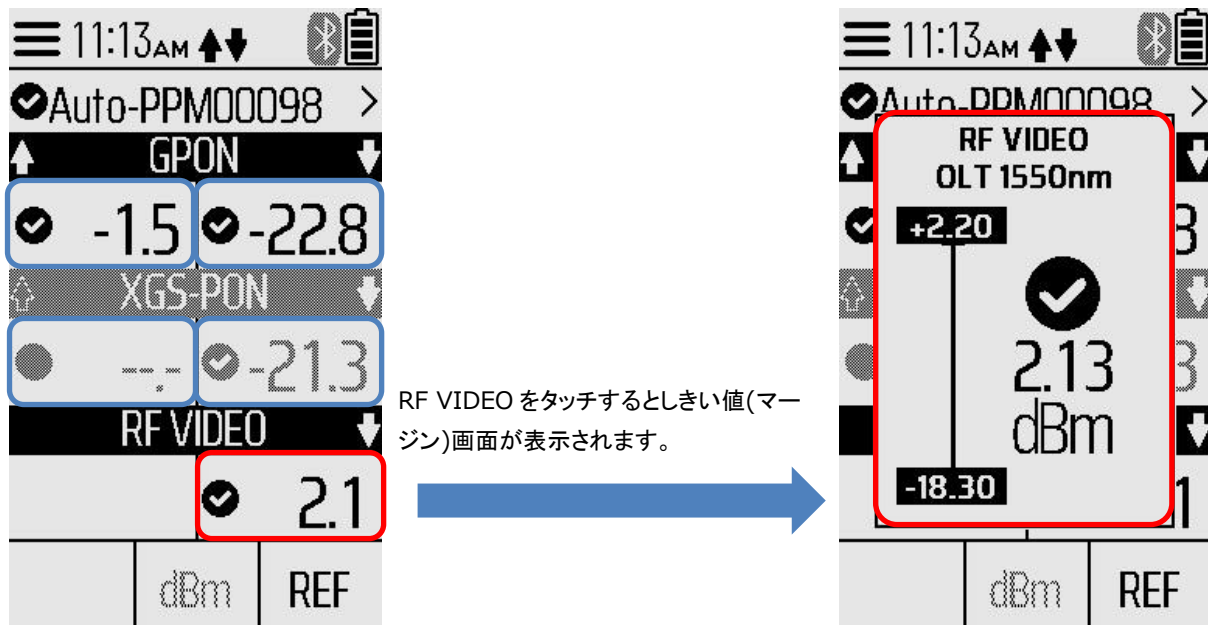
本体起動時は、前回のテスト構成で起動します。

- (1) 上記の試験構成でファイバを接続します。
 - ※ ONT ポート/OLT ポートは、APC(斜め研磨)ケーブルで接続します
 - ※ 各ポートに光ファイバを接続する場合は、光ファイバの清掃を行ってください。
- (2) 本体電源 ON にします。
- (3) テスト構成を設定します。(2.3 項を参照)
- (4) 画面に値が表示されます。



3.1. しきい値(マージン)の確認

- (1) 測定結果画面で確認する箇所をタッチします。
- (2) しきい値(マージン)画面が表示されます。
- (3) 再度、画面をタッチすると画面が閉じます。



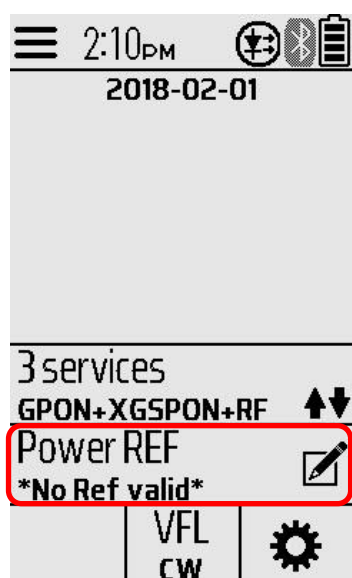
3.2. dB(ロス)モード測定

dB(ロス)モード測定は、ダウストーム側だけの測定モードです。

- (1) メニューパネルでテスト構成を設定します。(2.3 項を参照)
- (2) Power REF をタッチします。リファレンス設定画面が表示されます。
- (3) TAKE REF をタッチします。現在ダウストーム側の入力レベル値がリファレンス値として設定されます。
- (4) 矢印アイコンをタッチして測定画面に戻ります。測定画面では、dB 単位で表示されます。

dB をタッチすると dBm と dB に切り替わります。

- ※ (1)で選択したテスト構成のみがリファレンス設定されます。
- ※ REF をタッチして手動でリファレンス設定値を変更できます。



リファレンス設定



dB/dBm 切替


※ リファレンス設定を行うと
切り替え可能

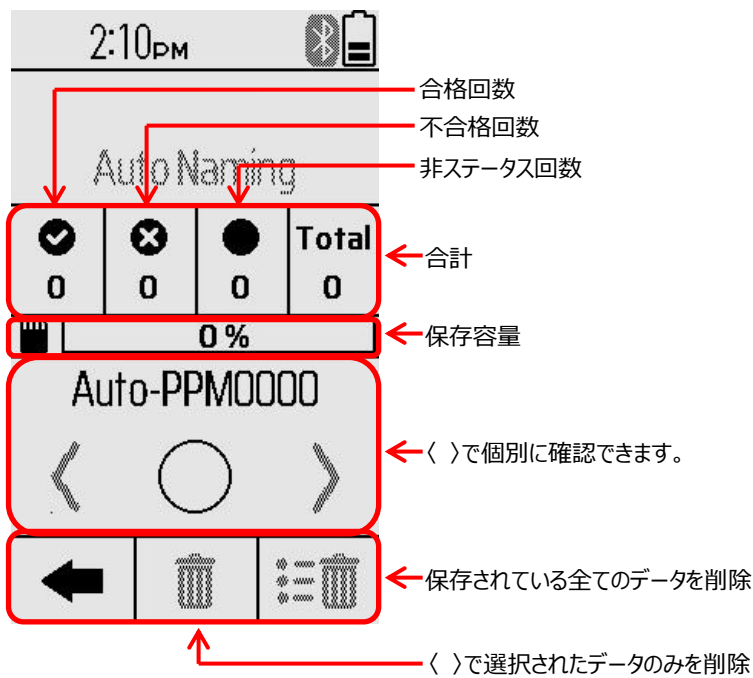
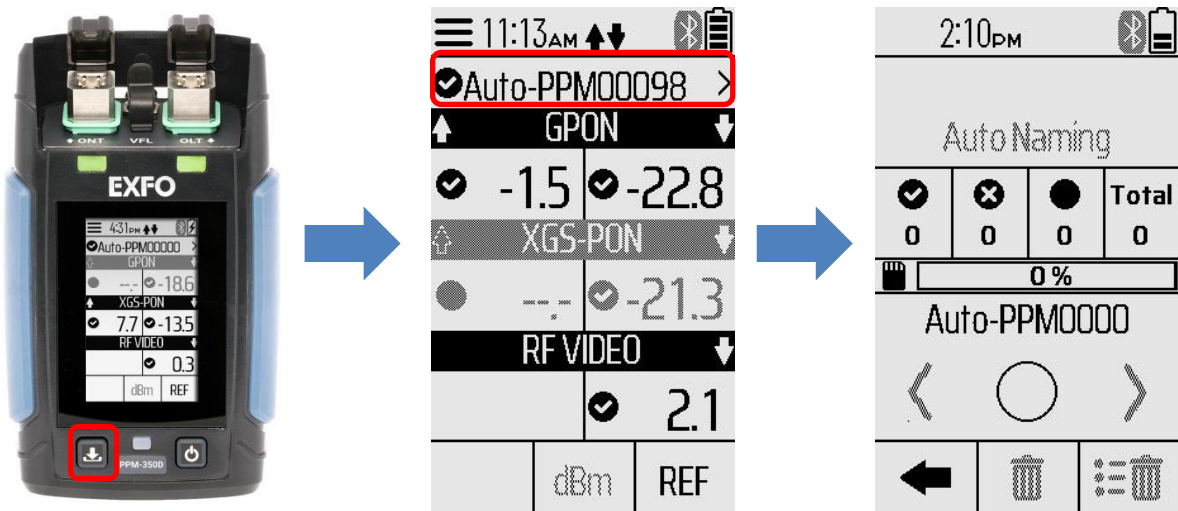


リファレンス値の手動設定

4. テスト結果の管理

ユニット内部に最大 3500 件の測定結果を保存できます。

- (1) 本体前面保存ボタン()を押すと自動的に測定結果が保存されます。(ファイル名は固定です。)
- (2) 保存した測定結果を確認する場合は、測定画面の上部のファイル名称をタッチすると保存されたデータの管理画面が表示されます。



5. スマートデバイスからの操作

PPM-350D とスマートデバイス(タブレット/スマートフォン)を Bluetooth で接続するとスマートデバイスから PPM-350D と同様の操作を行えます。

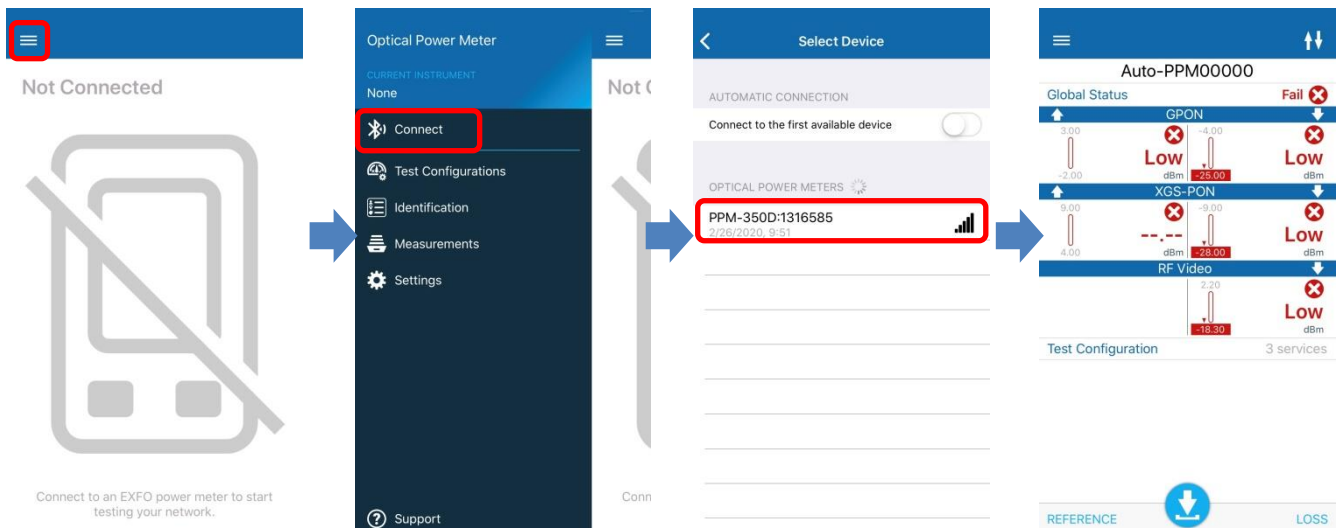
5.1. アプリケーションの取得

iOS の場合は、App Store、Android の場合は、Google Play から EXFO の OPM アプリケーションをダウンロード&インストールを行います。



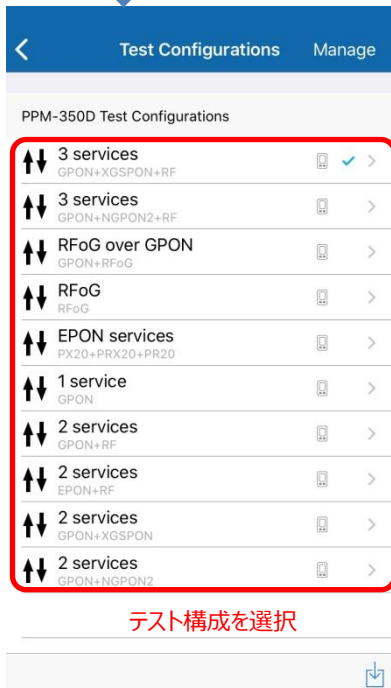
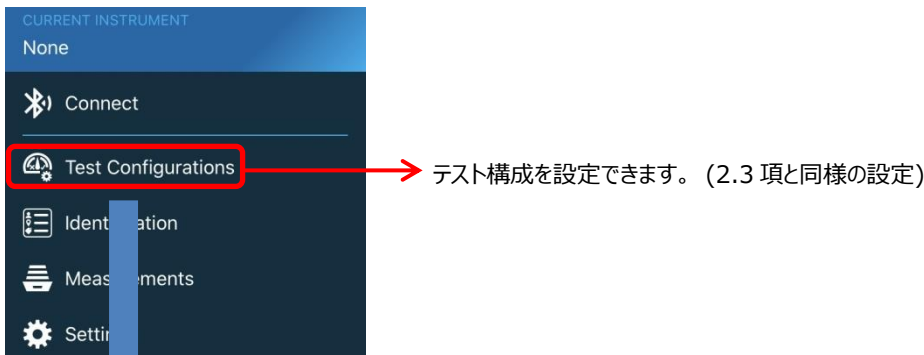
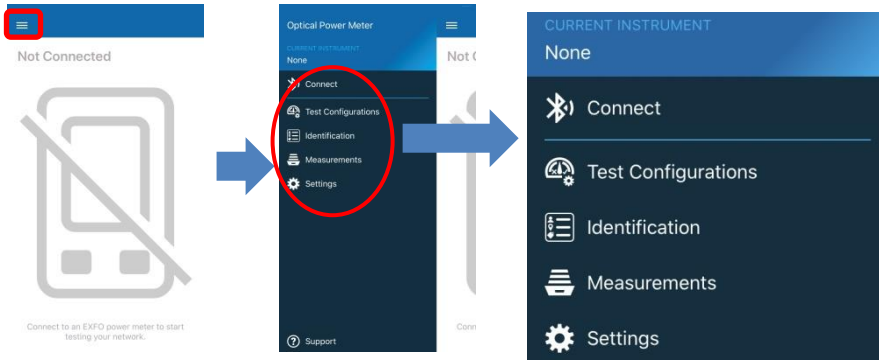
5.2. 起動と接続

- (1) 本体(PPM-350D)の電源を ON にし、スマートデバイスの OPM アプリケーションを起動します。
- (2) 画面左上のメニューアイコンをタッチして Connect を選択します。
- (3) 接続可能な機器が全て表示されます。接続する機器を選択すると PPM-350D と同じ画面が表示されます。

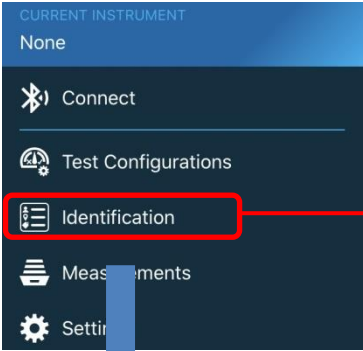


5.3. メニュー

5.3.1. Test Configurations



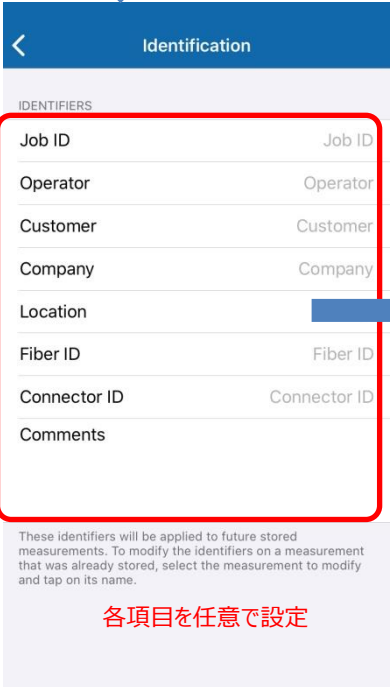
5.3.2. Identification



CURRENT INSTRUMENT
None

- Connect
- Test Configurations
- Identification
- Measurements
- Settings

保存ファイル ID を設定できます。



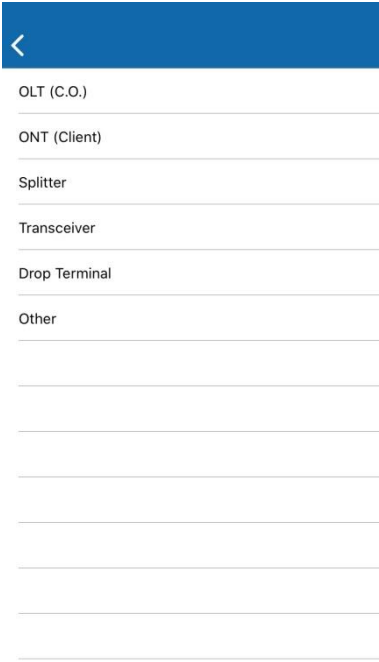
< Identification

IDENTIFIERS

Job ID	Job ID
Operator	Operator
Customer	Customer
Company	Company
Location	Location
Fiber ID	Fiber ID
Connector ID	Connector ID
Comments	

These identifiers will be applied to future stored measurements. To modify the identifiers on a measurement that was already stored, select the measurement to modify and tap on its name.

各項目を任意で設定



<

- OLT (C.O.)
- ONT (Client)
- Splitter
- Transceiver
- Drop Terminal
- Other

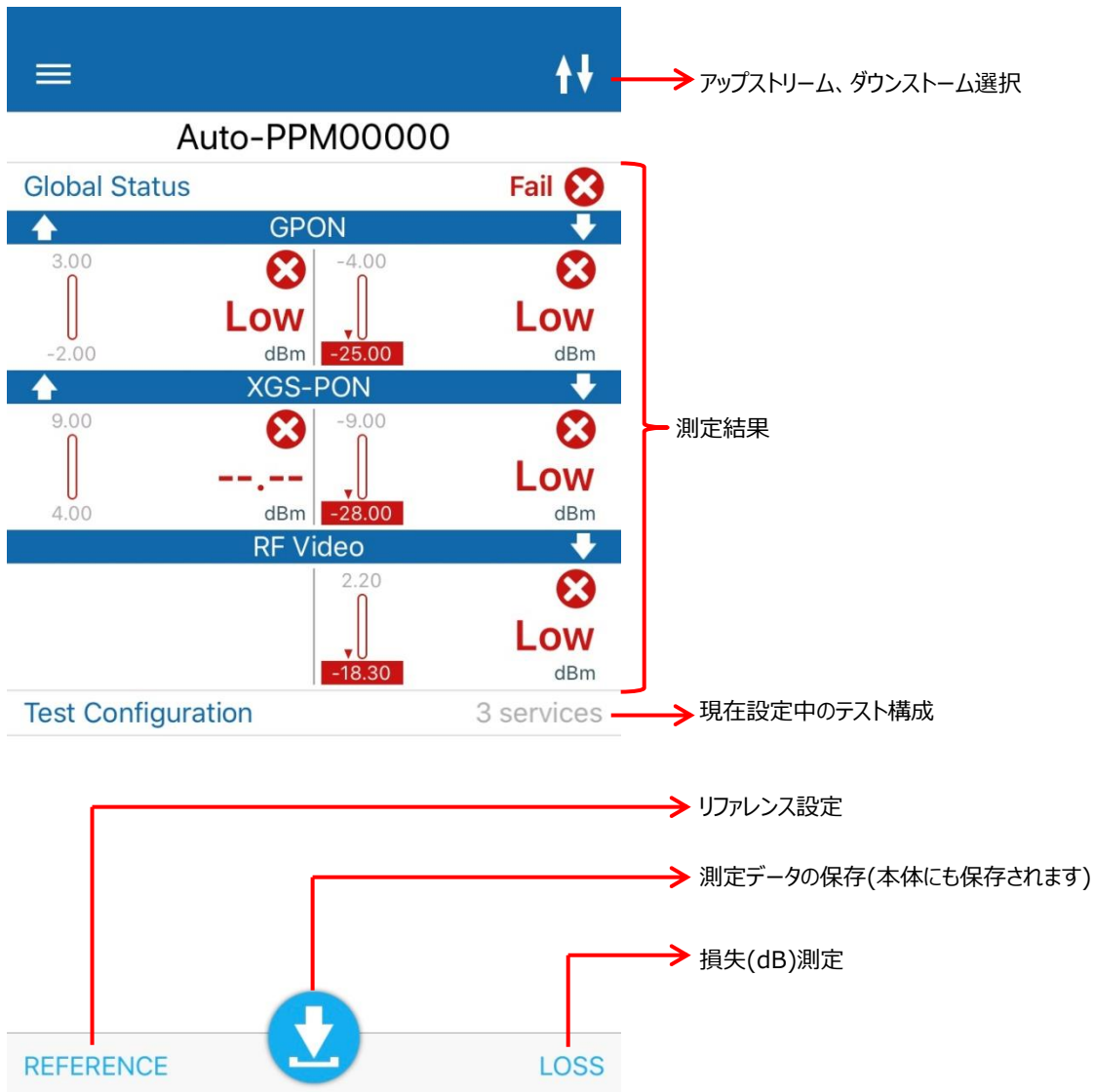
Location

5.3.3. Measurements



5.4. 測定

PPM-350D とスマートデバイスを接続すると前回設定したテスト構成で測定画面が表示されます。



6. 仕様

項目		仕様			
技術仕様					
		スペクトラム パスバンド (nm)	測定範囲 (dBm)	校正波長 (nm)	最大入力レベル (dBm)
ONT/ONU アップストリーム	1270nm	1260-1280	-10~ 13	1270	16
	1310nm	1290-1330	-30 ~ 13	1310	
	1524-1544nm	1330-1630	-10~ 13	1534	
	1550nm	1330-1630	-10~ 13	1550	
	1610nm	1330-1630	-10~ 13	1610	
OLT ダウンストリーム	1490nm	1480-1500	-50 ~ 13	1490	17
	1550nm	1540-1560	-35 ~ 26	1550	27
	1577-1578nm	1573-1630	-50 ~ 17	1578	20
	1596-1603nm	1573-1630	-50 ~ 17	1600	
	1610nm	1573-1630	-50 ~ 17	1610	
ORL(dB)		60			
パススルー挿入損失(dB)		1.5			
パワー不確か性(dB)		0.5			
一般仕様					
ストレージ容量		3500 件保存可能			
バッテリー駆動時間		8 時間			
バッテリー充電時間		2 時間以内			
ディスプレイ解像度		0.01dBm			
測定単位		dB、dBm			
サイズ(H * W * D)		154 mm * 88 mm * 41 mm			
重さ		420g			
操作温度範囲		0℃ ~ 50℃			
保管温度範囲		-40℃ ~ 70℃			

EXFO 【製造元】
EXFO Inc.



【販売元】
原田産業株式会社 AIF チーム
Tel : 03-3213-8391 / Fax : 03-3213-8399
URL : <http://infocom.haradacorp.co.jp>
E-Mail : sales-info@haradacorp.co.jp